

木更津飛行場周辺まちづくり実施計画（吾妻公園）素案に対する意見と市の考え方

No.	提出された意見	意見に対する市の考え
1-1	現在の本件の進め方については、いくつかの根本的な問題があります。 それは特定の地域である、木更津飛行場周辺のまちづくりを策定する前に、木更津市全体が持つ風土や歴史、産業や自然資源を踏まえて、50年後、100年後の木更津市のあるべき姿、理想のイメージについて、すべての住民の合意形成がなされた後に、各地域の具体的なまちづくり構想に取り組むべきでした。 木更津市といっても、現在、発展著しい金田地区や、昔からの繁栄の歴史があるみなとまち木更津や漁業が今も盛んな沿岸地域、そして住宅地や工業地として栄えた畑沢、清見台、波岡、八幡台、請西地区、農業で本市を支える中郷や岩根、矢那、草敷、下郡、馬来田など各地区に住む人々が、未来の木更津市に望むイメージは様々です。 全ての住民への期待に完全に答える事は難しいかも知れませんが、でも極力、公的施設の機能が、どの地域のどの住民に対しても十分であってほしいと願います。 しかし現実的には、かなりの数の公的施設が老朽化で更新の必要があるのに、その為の積立準備金が不足する中で、補助金の活用は止むを得ないのかも知れませんが、でも補助金が建設費の75%という高率のバウチャー（交換条件）として、迷惑な軍事施設etcを配備されないように、念書を作成してもらって下さい。 オスプレイも勿論、撤退して頂いてください。	「木更津飛行場周辺まちづくり基本構想」等の策定にあたりましては、これまでで市民の方々や有識者、関係団体等のご意見やご要望を伺いながら進めてまいりました。 今後も引き続き、本事業の推進について周知を図るとともに、丁寧な説明を行ってまいります。 持続可能な行政サービスの提供と、将来に負担を残さない健全な行政運営の両立を図るため、効果的・効率的な施設の維持・管理等を推進してまいります。 施設整備に対する財政負担の軽減を図るため、「まちづくり支援事業」の活用を目指し、取り組みを進めてまいります。 なお、今回の補助金を受けることで、特に防衛省から制限を課されるものではないと認識しております。 また、まちづくり支援事業の活用は、オスプレイ暫定配備とは関係なく進めているものです。
1-2	防衛省のヒモ付き補助金という概念の他に、吾妻公園という津波想定地域に複合施設を建設するのもあまり望ましくないと 思います。 特に、気候変動の加速するこれから、自然災害が頻発し、かつてない規模の大災害も予想される中、住民の避難場所を海岸近くに建設するのは賢明とはいえないです。 また、浸水した場合、1階部分は全て水浸しになるので、図書館は2階以上にすべきです。また、自治体の統治システムは集中ではなく、分散が安全。 未来世代にできるだけ経済的負担をかけないために、また気候崩壊を回避するためにも、温室効果ガスの排出を抑え、メンテナンス費用を軽減するために、堅牢かつコンパクトに必要なニーズを満たした施設にすべきです。	公園の周辺には津波に対応した避難施設が無いことから、周辺住民や施設利用者が、迅速かつ安全に一時避難できる施設を整備することで、安心安全の確保につながるものと認識しております。 また、図書館につきましては、現在の平面構成において3、4階に配置しております。 いただいたご意見を踏まえ、今後の設計段階において、詳細な検討を進めてまいります。
1-3	そして中央公民館や図書館をこの複合施設に移設するならば、最低でも1時間に数本の無料シャトルバスを駅から発着して下さい。	利便性向上のため、イオンタウン（株）が運行する巡回バスのルート延伸や、それ以外の様々な交通手段についても、財政的な負担も考慮しつつ、検討を進めてまいります。
1-4	また、公民館も図書館も行政の管理から独立した社会教育機関であり、独自の運営機能を担保して下さい。 現在、中央公民館前にある自習スペースでは、“エキチカ”だからこそ、利用率が高いのだと思います。この自習スペースは駅近くに新設されるという市庁舎内に是非、確保し、無料で市民に開放すべきです。	図書館、中央公民館の具体的な運営方法につきましては、今後さらに検討を進めてまいります。 また、中央公民館前の自習スペースにつきましては、駅前新庁舎内に整備する（仮称）市民交流プラザ内において、同様の機能を設けることを検討しております。
2-1	「吾妻公園」は、「立地適正化計画」の除外地のため、都市計画すべての対象外でした。そのため、急いでパブコメをして除外地を変えました。手順前後の典型だ。	本まちづくり実施計画（吾妻公園）を含む「木更津飛行場周辺まちづくり基本構想」等は、「木更津市基本構想」における「みなとまち木更津再生プロジェクト」を具体化する計画であることから、本計画内容に基づき、吾妻公園を都市機能誘導区域に編入するよう「木更津市立地適正化計画」の変更手続きを進めております。
2-2	木更津市の「基本計画及び「木更津地区のマスタープラン」の「まちづくり」を検証した結果、 ① 吾妻公園を中心とした大改造の構想や計画にない ② 吾妻公園を「中心市街地」として位置づけてはいない ③ 吾妻公園を文化芸術と交流の広場とする構想はなかった 以上から、木更津市中心地のまちづくりは、現行のまま、まちづくりを進めるか、修正してすすむべきか市民に問うべきでした。 しかし、市は、この矛盾を知りながら、市民に知らせることなくガムシャラに突っ走り、自らの「基本方針」を否定し、ねじ曲げながら変更したまちづくりをするという強引な手法で進めたのでした。 結論 ○木更津飛行場周辺まちづくり構想は、「新しい視点から生まれ防衛省認定の事業」と言わざるを得ません。 ○防衛省予算ありきの「吾妻公園」改造であり、「持続可能なまちづくり」とは無縁な木更津飛行場（米軍基地）と共存・共栄する長期の道を選んだということになりませんか。	「木更津飛行場周辺まちづくり基本構想」等は、自衛隊等の航空機の騒音により周辺地域の住民の生活などが阻害されている状況において、その障害の緩和に資する施設の整備を通じて防衛施設存在を前提としたまちづくりを行う場合に、国がその一部を補助する「まちづくり支援事業」の採択を目指すものであり、策定にあたりましては、市民の方々や有識者、関係団体等のご意見やご要望を伺いながら進めてまいりました。 これまでも基地と共存してまちづくりを行ってきた本市の歴史を踏まえ、施設整備に対する財政負担の軽減を図るため、「まちづくり支援事業」の活用を目指してまいります。

No.	提出された意見	意見に対する市の考え
2-3	木更津市の都市計画等の大半は、「木更津飛行場周辺まちづくり基本構想」との関連性について説明はされていない。あえて理由を見つけるとするならば「同構想が市の計画よりも上位」に位置づけられているので説明を要しないということかも知れない。 ①中央公民館利用者懇談会での大半の意見は、「補強かつ簡易エレベーターの設置」を要望したが、市の回答は「学校との複合化」が原則、基本と説明しているながら、いつの間にか基地前の吾妻公園に建設となり、解体後の跡地利用について市民の声を聞く会議等は設定されていない。 ②市立図書館利用者会での説明の趣旨は「耐震のために閉鎖」に関するものがほとんどで新規建設は話題にならなかった。が、こちらも基地前吾妻公園に。殆どの利用者は駅周辺を希望しています。	狭陰な図書館、仮移転中の中央公民館などの課題に速やかに対応する必要があるなか、中心市街地では十分な敷地を確保できず、活用可能な補助金もないことから、恵まれた敷地規模を有するとともに、施設整備に対する補助金が活用できる吾妻公園に複合化して整備することが最善であると判断したうえで、「木更津飛行場周辺まちづくり基本構想」を策定したところでございます。 また、旧中央公民館跡地につきましては、当面の間、駐車場としての利用を想定しております。
2-4	最も危険な米軍基地前の「吾妻公園」へ市民を誘導して、賑わいのまちづくりって変ですね。 金田地区（ショッピングエリア？）～江川運動場（何をするの）～吾妻公園～江川運動場～金田地区へ回遊を目論む構想に魅力はあるか？ このコースは海岸に近く埋め立ての上を走るの「液状化」「津波」の心配がある。想定外だったとはいえない。吾妻公園には防災用一時避難を可能にしているかも知れないがそんな事を想定しない場所がベストだ。	「みなとまち木更津再生プロジェクト」の更なる推進を目指し、金田地区のにぎわいを駅周辺地区等へ誘導するため、民間事業者による収益施設整備等を含め、様々な人が気軽に集える心地よい公園とすることで、回遊性の向上を目指してまいります。 また、公園の周辺には津波に対応した避難施設が無いことから、周辺住民や施設利用者が、迅速かつ安全に一時避難できる施設を整備することで、安心安全の確保につながるものと認識しております。
2-5	米軍基地の存在を活用して地域振興まちづくりに防衛予算75% 防衛省紐付き事業って変です。 計画P4の図では、防衛省事業が上位で、木更津市の計画等が次々に改正・変更されているのがわかる。	「木更津飛行場周辺まちづくり基本構想」等は、自衛隊等の航空機の騒音により周辺地域の住民の生活などが阻害されている状況において、その障害の緩和に資する施設の整備を通じて防衛施設の存在を前提としたまちづくりを行う場合に、国がその一部を補助する「まちづくり支援事業」の採択を目指すものであるとともに、「木更津市基本構想」における「みなとまち木更津再生プロジェクト」を具現化する計画となります。
3-1	A. 私は就職を機に木更津市に住居を構えました。君津郡の中で、経済的には袖ヶ浦市が優位であったようですが、やはり歴史的には4市の中心は木更津市であり、市民会館の大ホールはNHKホール作成の技術陣が関与した立派な1000名を超える規模を誇っていました。耐震構造に問題があるとのことで、芸術面での施設はすっかり、君津の文化ホールにその地位を譲ってしまいました。それがいつ復活するのかと期待していましたが、吾妻公園の一面に「可動式の椅子を並べるだけのホール」となるようです。木更津市に芸術的文化はなじまないのですか。とても落胆しています。	ホールにつきましては、「木更津市中規模ホール整備基本計画」を踏まえ、収容人数を700人としたうえで、文化団体や学校利用をメインに想定し、市民の方々の芸術文化活動の発表の場として整備してまいります。 また、災害時に避難所等として活用することから、平土間としても利用できるよう、座席は可動式としております。
3-2	B. 木更津一小・一中のとなりにあった中央公民館も耐震構造の関係で取り壊しになり、あらためて立て直されると思っていましたが、駅前に移った仮施設（6F）は規模が相当小さくなり、有料化のために多くのサークルが参加しない状態に追い込まれました。そして秋の公民館祭りの賑やかさは消えてしまいました。唯一、木更津市を含めた多くの学生が静かに自習する姿は将来の地域を支える若者の大事な場所として定着しつつありました。それが吾妻公園の複合施設内に吸収されるようですが、学生たちは立地の悪い（駅から遠く、飛行場の騒音が予想される）場所には足を運びません。文教にある市立図書館も環境が悪い今度の施設を利用しません。吾妻公園は市が進めてきた街づくり立地構想から外れていたのが、急に構想の中心になることなどありえません。お金が安くつくだけの構想づくりは木更津市の歴史に汚点を残すので反対です。再考を願うしかありません。どうか人間の魂を入れた施設づくりを考えませんか。	狭陰な図書館、仮移転中の中央公民館などの課題に速やかに対応する必要があるなか、中心市街地では十分な敷地を確保できず、活用可能な補助金もないことから、恵まれた敷地規模を有するとともに、施設整備に対する補助金が活用できる吾妻公園に複合化して整備することが最善であると判断したうえで、「木更津飛行場周辺まちづくり基本構想」を策定したところでございます。 なお、中央公民館前の自習スペースにつきましては、駅前新庁舎内に整備する（仮称）市民交流プラザ内において、同様の機能を設けることを検討しております。
4-1	基本的配置位置について 木更津駅から歩いて行くのには、約1.5kmと遠いと感じるのでバスなどの交通アクセスをしっかりとねがいします ・定期路線バスならびに高速バスの乗り入れ ・市内巡回バスの乗り入れ ・イベント時のシャトルバス運行（旧市役所駐車場⇄吾妻公園等） 吾妻公園から内港公園や鳥居崎海浜公園・塩浜公園への回遊路（歩道）を整備願いたい	いただいたご意見を踏まえ、利便性向上のため、イオンタウン（株）が運行する巡回バスのルート延伸や、それ外のような交通手段についても、財政的な負担も考慮しつつ、検討を進めてまいります。
4-2	吾妻公園全体の整備方針について 全体配置は良いかと思います 気になるのは、中央ゾーンと北ゾーンの間に駐車場に入る道路が横切るので歩行者と車両の動線に注意喚起と対策が必要だと思います （中央エリア文化芸術施設と北エリアを跨ぐ歩道橋の整備等）	いただいたご意見を踏まえ、動線計画や運用方法の検討を進めてまいります。

No.	提出された意見	意見に対する市の考え
4-3	文化芸術施設の整備方針について バリアフリーに対応した配置をお願いします 災害時避難動線の確保 図書館・公民館・ホール利用者の動線が一カ所に重ならない様にお願いします （混雑による通れない等） 隣接自衛隊施設に発着する航空機・ヘリコプターの騒音・振動等が文化芸術施設内部に影響が出ないように設計前調査をおねがいします	いただいたご意見を踏まえ、今後の設計段階において、詳細な検討を進めてまいります。
4-4	公園内設備の整備方針について 屋外トイレの設置場所が少ないと思います 屋外設備に死角になる場所ができない様に商業施設等の配置をおねがいします	トイレの位置、個数については確定しているものではございませんので、いただいたご意見を踏まえ、今後の設計段階において、詳細な検討を進めてまいります。
4-5	常設駐車場の台数が施設のサイズ対して少ないと思います （大規模イベント開催時臨時駐車場の設定も利用者からしたら少ないと思います） 駐車棟の整備または、周辺地域に駐車可能な場所の確保を願いたい 駐車場は無料化だと長時間駐車や迷惑行為の恐れがあるため、駅前市営駐車場みたいに有料化（施設利用者負担）して最初の30分（または60分）を無料・以降30分毎に100円の使用料徴収を導入検討 ※図書館・公民館・文化芸術施設利用者・商業施設利用者に減免・割引対応は必要	駐車台数につきましては、想定される利用人数に対し、自動車利用率、平均乗車人数等を考慮して設定しております。また、大規模なイベント時などは、内港北公園の活用等も含めて対応したいと考えております。 いただいたご意見を踏まえ、駐車場の運用についても、検討を進めてまいります。
4-6	バス乗降場は屋外ではなく文化芸術施設の下付近の駐車場エリアに配置が良いかと （悪天候時のバス待ち対策・イベント終了時の待機列整理に有効と思います）	いただいたご意見を踏まえ、今後の設計段階において、詳細な検討を進めてまいります。
4-7	動線の整備方針について 自家用車とバスならびにホール・公民館・図書館搬入出車両の出入りが中央部交差点の一点に集中している 【問題点】 ・イベント開催時の入場・退場時間によっては中野畑沢線の渋滞原因となる ・渋滞に伴い定期運行バス・巡回バスの定時運行に支障をきたす可能性が大きい ・ホールイベント等の資機材搬入出や出演者の動線が重なるのは出待ち等の安全対策が必要になる 【対策】 自家用車の動線とバス・資機材搬入出車両の動線を別にする 自家用車は中央交差点へ誘導 （出庫時は自衛隊入口側交差点へ動線追加） バス・資機材搬入出車両は新宿側ならびに自衛隊入口側交差点へ誘導 中央部交差点 金田方面から右折車線・新宿方面から左折車線を設置 （信号機は方向別矢印表示方式をお願いします）	自家用車及びバスの出庫動線につきましては、公園中央部の交差点からを基本としつつ、イベント時においては、公園北側交差点からの出庫についても検討しております。 いただいたご意見を踏まえ、動線計画の検討を進めてまいります。 また、金田方面からの右折入庫に対応するため、中野畑沢線における右折車線設置の検討しております。
4-8	災害時の利活用について 説明用に後付け感があるので、もう少し具体的な利用説明を追加してほしい （施設毎の使用計画と防災設備配置案） 太陽光発電を利用した防災用井戸のくみ上げと水素貯蔵・発電システムの導入 文化芸術施設敷地の盛土高さを4.5Mにして施設を囲む範囲を嵩上げて避難エリアとして検討してほしい	施設ごとの防災活用計画や防災設備の配置、非常用電源の確保等につきましては、今後の設計段階において、詳細に検討してまいります。 また、施設周辺の盛土につきましては、利用者の日常的な利便性への配慮から、グラウンドレベルの広場を設けており、災害時には、屋上も含めた文化芸術施設内に避難していただくことを想定しております。
4-9	事業計画について 整備手法は従来方式を支持します ただし設計発注・・・低価格入札にて落札→工事受注にならないようにお願いしたい 管理運営体制は施設管理・ホール運営管理・公園管理は指定管理者または第3セクター方式 （運営経験のある民間で過去に問題を起こしてない企業体が望ましい） 中央公民館・図書館については自治体管理が良いと思います （木更津市直轄管理運用が将来的に安定して運用可能とおもいます） 公園内民間商業施設は5年以上以上活動できることを期待したい （開店して1年で閉店・撤退は活力低下につながりそう）	適正な施工の確保を図るため、発注事務において十分留意してまいります。 文化芸術施設の管理運営につきましては、施設全体の維持管理やホールの運営は指定管理者制度の導入を基本としつつ、今後、図書館、中央公民館の具体的な運営方法の検討をさらに進めてまいります。 また、公園広場の管理運営につきましては、文化芸術施設との一体的な管理運営を視野に入れつつ、民間活力活用検討部分における民間事業者による収益施設整備の検討と合わせ、管理運営の方法や業務範囲、内容の検討を進めてまいります。 さらに、民間事業者による収益施設につきましては、いただいたご意見を踏まえ、詳細な規模や事業内容について、今後予定しているサウンディング調査の結果と合わせ、検討してまいります。

No.	提出された意見	意見に対する市の考え
4-10	事業費について 概算から詳細検討時価格の変動についてはその都度説明が必要と感ず 防衛省の補助事業の対象範囲と費用範囲・法的根拠の丁寧な説明が必要と思います (2月18日の説明会にて補助事業条文解釈に対する指摘をする質問があったので・・・) 中央公民館・図書館・ホールを個別に整備した場合の建設費用概算を参考資料として出して頂けたらわかりやすいとおもいます (その他2も参考で算出していただけるとありがたい)	いただいたご意見を踏まえ、補助対象範囲を含む事業費について、引き続き丁寧な説明を心がけてまいります。 ホール、図書館、中央公民館をそれぞれ単独で整備した場合における概算事業費につきましては、「木更津飛行場周辺まちづくり基本計画」に掲載しております。
4-11	事業スケジュールについて 運営供用開始の日程ありきにならないように進めてほしい (防衛省補助事業予算締め切り駆け込みにならないような余裕ある日程を！) 議会専門委員会会議や市議会本会での説明をお願いします	事業スケジュールにつきましては、建設業における将来の担い手確保に向けた取組も踏まえ、十分な工期が確保できるよう、可能な限り早期発注に努める等配慮するとともに、市議会での説明につきましても、適切な時期に実施してまいります。
4-12	その他 進捗について適時広報等情報発信をお願いしたい 図書館利用者・中央公民館利用者向けの利用予定アンケートと説明会を実施してほしい 建設予定の駅前庁舎 市民交流スペースの位置付けはどうか？説明をおねがいします	事業の進捗につきましては、市公式ホームページ等を通じ、適宜、情報発信に努めてまいります。 また、今後の設計段階におきましても、今年度と同様に説明の機会をもうけてまいります。 駅前新庁舎内に整備する(仮称)市民交流プラザにつきましては、「ユース世代を中心に世代を超えて交流し学び合いを生む次世代コミュニティセンター」をコンセプトに、市民活動支援センター機能や、多目的ホール機能、コワーキングスペース機能等を設ける予定としております。
4-13	その他2 図書館を駅前スパークルシティ4階(+3階)へ移転して建物解体 解体跡地に図書館と文京公民館の複合施設建設 (矢那川の横なので浸水対策として1階を駐車・出入り口・2階以上を施設として建設) 図書館と文京公民館を移転 旧文京公民館を解体・跡地を駐車場にする 旧中央公民館解体 跡地を平面駐車場(駅前市営駐車場の仮駐車場)として運営 または保険相談センター兼夜間診療所と地域包括センターを建設 郵便局前夜間診療所と地域包括センターを移転・解体 跡地を駐車場	狭陰な図書館、仮移転中の中央公民館などの課題に速やかに対応する必要があるなか、中心市街地では十分な敷地を確保できず、活用可能な補助金もないことから、恵まれた敷地規模を有するとともに、施設整備に対する補助金が活用できる吾妻公園に複合化して整備することが最善であると判断したうえで、「木更津飛行場周辺まちづくり基本構想」を策定したところでございます。 なお、「木更津飛行場周辺まちづくり基本計画」において、図書館、中央公民館を木更津駅周辺で賃借した場合も含めた概算事業費の比較検討を行っておりますが、吾妻公園に複合化して整備することが、最も施設整備費を抑えることができると整理しております。 また、旧中央公民館跡地につきましては、当面の間、駐車場としての利用を想定しております。
5-1	そもそも、図書館も中央公民館も中規模ホールもすべて中途半端な規模。 この実施計画には、無理があり、公民館と中規模ホールの建物とし、もっと余裕があるものにしてほしい。 現図書館は、水回りが難点であるものの、耐震化したばかりなので、アクセスのよい場所への再検討を望みます。	ホール部分につきましては、「中規模ホール整備基本計画」におけるホール部門の面積を2,800㎡としているところ、ホワイエ等の共用部が縮減できることから、2,500㎡として設定しております。図書館部分につきましては、「新木更津市立図書館整備計画」における整備面積に基づき、2,400㎡としております。中央公民館部分につきましては、現在の中央公民館のうち、廊下等の共有部分を除いた会議室等の面積と同程度である1,000㎡としております。また、ホワイエや廊下、機械室等の共用部につきましては、各専有面積を踏まえ、必要面積として2,400㎡として設定しております。 なお、図書館につきましては、中心市街地では十分な敷地を確保できず、活用可能な補助金もないことから、交通アクセスが良好であり、施設整備に対する補助金が活用できる吾妻公園に複合化して整備することが最善であると判断したうえで、「木更津飛行場周辺まちづくり基本構想」を策定したところでございます。
5-2	そもそも、図書館も中央公民館も中規模ホールもすべて中途半端な規模。 それは、中央公民館を図書館も中規模ホールも併用しているからです。中央公民館は、「軒下貸して母屋取られる」状態です。その理由は、 ①中央公民館のスタジオエリアの面積は、300㎡です。市民会館中ホールが343.87㎡ 旧中央公民館の大ホールが318.88㎡と比べれば、イメージができます。 ②会議室エリアは、530㎡です。現在の中央公民館の会議室は、7つありますが、597㎡です。 ①と②についての見解→つまり、現在の中央公民館のスペースからさらに狭くなります。その上、中規模ホールのリハーサル室として、公民館のスタジオエリアや会議室も相互利用できるようにするというので、従来の公民館利用者は、利用しにくくなるのではないかと危惧します。	スタジオにつきましては、現中央公民館の多目的ホール(300㎡)と同規模を確保することを想定しておりますが、会議室エリアも含め、詳細な面積は、今後の設計段階において、さらに検討してまいります。 なお、ホール、図書館、中央公民館を相互利用することで、稼働率の向上に繋がるとともに、様々な方にご利用いただくことで、交流の促進に寄与するものと考えております。

No.	提出された意見	意見に対する市の考え
5-3	そもそも、図書館も中央公民館も中規模ホールもすべて中途半端な規模。中規模ホールは、700席の可動式客席です。この設置には、どのくらいの時間がかかりますか。富来田公民館の場合、設置に30分ほどかかるとのことでした。 会場を借りる際、この設置の時間も含んだ利用料金設定となるのでしょうか。 図面をみると、舞台があり、可動式の客席がありますが、可動式の客席を使わない利用は、どのような場合を考えているのでしょうか。図面をみると、舞台がかなり広いので、ならば、平たんな場合は、スタジオ利用で十分で、可動式ではない客席のほうがいいのではと考えました。舞台まで可動式を考えているのですか。 避難所として考えているのであれば、天井が高く、寒さ、暑さ対策も考えると、公民館を活用したほうがいいと考えます。	ホールの座席設置時間につきましては、座席収納方法や可動範囲等にも大きく左右されることから、現時点では算出しておりません。 設営等の準備時間も含めて利用時間になると思われますが、利用料金の設定等につきましては、今後、検討を進めてまいります。 また、平土間形式としても活用することで、舞台芸術だけでなく、ダンス利用や大規模な展示会など、幅広いニーズに対応できることから、稼働率向上に繋がるものと考えておりますが、座席の規模や仕様、可動の範囲等につきましては、今後の設計段階において、詳細に検討してまいります。 なお、様々な災害に対応する観点から、ホールは避難所としても活用できるよう整備してまいります。
5-4	施設全体の維持管理やホールの運営は、指定管理者制度を導入を基本とする。図書館、中央公民館の具体的な運営方法は、今後も検討で、決まっていますが、ホールの運営を指定管理制度の導入を基本としているので、次の点があいまいなまま、指定管理者制度を導入することはせずに、下記の場合は、どのように考えているのかも、判断材料としてきちんと提示してください。 ①中規模ホールの利用料金は、市民会館中規模ホール相当でしょうか。それとも、金田地域交流センター相当でしょうか。 ②市民会館や金田地域交流センターの利用料金は、利用料金の上限は、市の条例で定めていますが、指定管理者の収入になります。中央公民館の使用料は、市の収入になり、公民館の備品などにあて、利用する市民へ還元しています。中規模ホールを利用するものの、リハーサルとして、公民館のスタジオエリアを利用する場合の利用料金は、市民会館の会議室としての料金設定なのか、公民館の使用料としてなのでしょうか。 ③現在の図書館は、会議室があり、開放しています。図書館の資料や本を持ち込み、調べたり、話し合ったりするのに活用されています。図書館法で、図書館は無料と定めているので、無料です。しかし、複合施設になると、図書館の会議室は、中央公民館の会議室エリアを使うことになります。図書館の本をわざわざ4F, 3Fから2階の公民館へもっていくことになるのでしょうか。その場合は、無料ですか。事前に予約しておかないと、利用できませんし、公民館で借りる場合は、市民は有料となります。現在、図書館で会議室を利用し、学んでいる方は、複合施設になったら、有料になるのでしょうか。有料になるのなら、新しい複合施設の図書館の会議室はありません。公民館の会議室を有料で利用することになるとはっきりいべきです。公民館も従来のように無料にするなら、図書館と公民館の相互利用はスムーズで、中規模ホールと公民館相互利用だけ、料金設定の対応を考えればいいです。 ④そもそも、本を図書館エリア以外に持ち出せるのでしょうか。ICチップを本につけ、管理をしたら、館内で利用はできると思いますが、費用対効果の判断材料として、いくらほど予算がかかるのか事前に提示して判断すべきではないのでしょうか。	①ホールの使用料につきましては、現在の市民会館利用料金等の状況も考慮して、検討を進めてまいります。 ②中央公民館の使用料につきましては、現在の中央公民館使用料金等の状況も考慮して、検討を進めてまいります。 ③会議室の使用料につきましては、現在の中央公民館使用料金等の状況も考慮して、検討を進めてまいります。また、図書館内には、それぞれの利用目的に対応できるような閲覧席の確保を検討しております。 ④図書館内の図書の取り扱いにつきましては、運営方法の検討と合わせ、維持管理費用も含めた検討を進めてまいります。
5-5	災害時の防災拠点 指定避難所や支援物資集積場所としての機能を確保について ①そもそも、吾妻公園は、これまで、「指定緊急避難場所」にも指定されていない公園です。津浪・高潮浸水深3mを考えなくてはけません。盛り土をし、建物を高くしたことは、検討された結果ですが、支援物資集積所を1階駐車場に置くのは、津波や高潮以外の災害の場合でしょうか。 ②100歩譲って、指定避難所に指定しても、支援物資の集積場所としては、不適切です。その理由は、吾妻公園へ行く道路は、海岸沿線であり、津波や高潮で浸水した場合、道路にはがれきや駐車していた車が流され、通行が困難なのではと考えます。地域の住民にとって、避難指定ビルもない平坦な土地のため、垂直避難のための避難所と位置付けるべきです。	①②支援物資集積所につきましては、地域防災計画において、市民体育館、市民会館、地方卸売市場が指定されておりますが、地震以外の災害時など、様々な災害状況に対応する観点から、駐車場や屋外広場に支援物資集積所を設置することを検討しております。
5-6	共用部(来訪者エリア)エントランスロビー、ホワイエ、展示スペース、カフェスペース、エレベーター、トイレ等この面積は、1400㎡。公民館のスペースより広い。 中規模ホールのトイレは、会場内にあり、図書館と公民館は、共用部のトイレを利用するということでしょうか。	施設内の機能ごとの面積や、トイレの個数、配置等につきましては、今後の設計段階において、詳細に検討してまいります。
5-7	カフェスペース ここに、店舗を構えるということは、その敷地面積など、賃料を木更津市に支払うということでしょうか。指定管理者が店舗を構え、賃料も支払わずに収益となるということは、自主事業の範疇を超えと思います。 他市でも、図書館にカフェスペースを設け、格安の賃料で営業していたことが問題になった事例もあります。	民間事業者による収益施設につきましては、都市公園条例における都市公園使用料を踏まえた金額を市に対し支払う必要がありますが、詳細な事業スキームや規模、事業内容について、今後予定しているサウンディング調査の結果と合わせ、検討してまいります。
5-8	吾妻公園の地盤 国土地理院の明治初期以前の地図をみると、吾妻公園は、県道より海側にあり、海を埋めた土地です。 地盤調査をすでに行ったのでしょうか。 地盤改良は、現状で試算しているのでしょうか。その試算は、どのくらいと考えているのでしょうか。それも含んだ総額でしょうか。	地質調査につきましては、今後の設計段階において実施することを想定しております。 また、地盤改良の費用として約6億円程度見込んだうえで、概算事業費を算出しておりますが、地質調査前の段階であることから、今後の調査結果に応じて詳細な検討を進めてまいります。

No.	提出された意見	意見に対する市の考え
6-1	中央公民館は、旧施設の跡地があるのでそこに再建設すればよい。わざわざ遠くに建設必要ない。公民館は、社会教育の充実・発展のためですし、地域の文化や地域の課題に関する学習を通して地域づくを進めてきたものが公民館。 地域住民と職員が気づき上げてきたものでこれまで通り教育委員会の所管で運営してください。 図書館においても現在のところに建て替えればよい。わざわざ遠くヘリコプター等騒音の心配されるところに建設の必要なし。	狭隘な図書館、仮移転中の中央公民館などの課題に速やかに対応する必要があるなか、中心市街地では十分な敷地を確保できず、活用可能な補助金もないことから、恵まれた敷地規模を有するとともに、施設整備に対する補助金が活用できる吾妻公園に複合化して整備することが最善であると判断したうえで、「木更津飛行場周辺まちづくり基本構想」を策定したところでございます。 また、図書館、中央公民館の具体的な運営方法につきましては、今後さらに検討を進めてまいります。
7-1	今回建築される新規建築物に関するご提案をさせていただきます。 先日の住民説明会によれば、この建物は再エネを取り入れた計画であるとのこと理解しました。しかしながら、木更津市が2050年までにカーボンニュートラルを目指すのであれば、省エネ性能の高い建物が求められます。このため、以下の提案をさせていただきます。 今年度より適用される省エネ基準（ZEB等級4）に準拠されることは理解しておりますが、我が市は2030年までに脱炭素化60%以上達成する目標を掲げております。この目標に近づけるためには、さらなる省エネ努力が求められます。そのため、地域の発展と環境への貢献を考慮し、ZEB水準（等級5）のビルを建築いただければ幸いです。 省エネ性能の高いビルは、地域のエネルギー効率を向上させ、地域全体の持続可能性を高めることが期待されます。また、地域の防災拠点としての役割を果たす上でも、高い省エネ性能は非常に重要です。地域の未来のために、積極的な取り組みをお願い申し上げます。	いただいたご意見を踏まえ、今後の設計段階において、詳細な検討を進めてまいります。